

令和4年度 東久留米市立南中学校 学校経営計画

＜教育目標＞ 愛の心を育てよう 勉学に励もう 自主性を伸ばそう 健康を育もう

＜目指す生徒像＞

- 自学自習の習慣を身に付け、自分を高めることができる生徒
- 目標をもち、進んで挑戦する生徒
- 多様性と共生社会を理解するとともに日本人としての自覚と誇りをもつ生徒

＜目指す学校像＞

- 知・徳・体の調和のとれた生徒を育成する学校
- 生徒一人一人の個性が尊重され、生徒がもつ可能性を引き出す学校
- 自国や他国の伝統・文化を尊重し、国際社会で活躍できる日本人を育成する学校

＜目指す教師像＞

- 常に研究と修養に励む教師
- 生徒、保護者、地域から信頼され、期待に応えられる教師
- 教育目標及び学校経営計画の具現化のために、組織的に生徒を指導する教師

＜教育目標を達成するための基本方針＞

1 人権尊重と健やかな心と体の育成

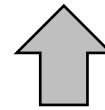
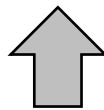
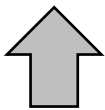
- 人権尊重の理念と法やルール の理解
- 主体的に判断し適切に行動できる態度の育成
- 「不登校0(ゼロ)」の学校を目指し、生徒が自分も友達も大切に、共に学び合える多様な機会の設定と組織的な取組
- 「学校いじめ防止基本方針」を見直し、未然防止・早期発見・早期対応の徹底

2 確かな学力の育成

- 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- 考えを「まとめる・広げる・深める」力を育成し、思考力・判断力・表現力の向上
- 身に付けた知識及び技能の活用
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- 豊かな国際感覚の醸成と世界の多様性を受け入れる力を身に付ける教育の推進

3 信頼される学校づくり

- 校務改善と学校評価に基づくカリキュラム・マネジメントの推進
- 特別支援教育コーディネーターを中心に、支援が必要な生徒に応じた指導體制の確立
- 「ボランティアマインド」の育成
- 感染拡大防止を徹底し、感染症に関する差別や偏見のない行動を身に付ける教育の推進



＜具体的な手立ての例＞

- 「特別の教科 道徳」の充実
- スクールカウンセラーを活用した相談体制の確立
- 「ふれあい月間」等のアンケートを活用し、生徒理解と組織的な指導や支援
- 体力運動能力調査の結果を踏まえた体力向上

等

＜具体的な手立ての例＞

- 学力パワーアップサポーターを活用した放課後学習教室等の実施
- 数学における習熟度別授業の実施
- 一人一台端末やICT機器の活用
- 「書く力」の育成
- 海外の学校や留学生との交流

等

＜具体的な手立ての例＞

- 特別支援教室と通常学級の連携
- 青少年健全育成協議会主催行事への参加の呼びかけ
- 感染症への正しい理解の徹底
- 出退勤システムによる教員の在校時間の把握

等

令和4年度 東久留米市立南中学校 学校経営計画 補助資料

*昨年度は、感染防止のために行事の参観と学校公開を行えなかったため、学校評価アンケートでは、学校で具体的にどのようなことをやっているのか、よくわからない・・・というご意見を多くいただきました。昨年度までの取組と今年度の計画について、補助資料としてお知らせいたします。

1 人権尊重と健やかな心と体の育成

- 1 「特別の教科 道徳」では、教科書以外にも副読本を活用し、人権尊重や生命尊重等の授業を実施しています。
- 2 不登校生徒には、関係機関と協力しあい、学校体制で対応しています。欠席の際には、保護者と担任の連絡を密にします。学力向上パワーアップサポーターによる個別の学習指導を受けている生徒もいます。
- 3 年間2回、専門委員会を中心に朝のあいさつ運動を実施しています。
- 4 全校朝礼等で、学校内外の優秀な活動の表彰をしています。
- 5 毎月発行される保健だより、毎月の安全指導、保健体育の授業等で健康・安全に努めています。

2 確かな学力の育成

- 1 数学では、習熟度別少人数授業を実施しています。
- 2 1人一台タブレットやホワイトボードを活用したグループによる話し合い学習を、各教科・道徳・総合的な学習の時間で、取り入れています。
- 3 定期考査お2週間前から、学習計画表を作成し、毎日の学習の点検を実施しています。
- 4 市内中学校合同で、授業改善の研究授業を年間3回程度実施し、授業力の向上に努めています。
- 5 米国ノースカロライナ州と交流を行ってききましたが、感染防止のため2年間実施できていません。年に3回、実用英語検定を実施し、希望者は校内で受験することができます。3学期に1・2年生の各クラスで外国人留学生による授業を行います。
- 5 週に1回、図書館司書が勤務しています。朝読書や図書委員会の活動で、読書に親しむ環境を整えています。
- 7 「書く力」の育成として、週1回朝学習で、自分の考えを文章で表し、スクール・サポート・スタッフが添削して返却しています。

3 信頼される学校づくり

- 1 毎週1回スクールカウンセラー、スクール・ソーシャル・ワーカーと管理職、特別支援教育コーディネーター、各学年特別支援担当で、特別支援委員会を開催し、特別な支援が必要な生徒について話し合いを行っています。必要に応じて保護者に連絡をとっています。
- 2 毎学期いじめを中心に、生活に関するアンケートを取り、早期発見、早期解決、未然防止に努めています。
- 3 毎月1回、異なる状況を想定した避難訓練を実施します。地域合同防災訓練は、2年間実施できませんでした。災害時の非常食と水を生徒数分確保しています。
- 4 青少協のみなみちゃん祭り、芋の苗植え・芋掘り、もちつきと昔あそびにボランティアとして、南中生が参加します。昨年度は、感染防止のため苗植え・芋ほりのみの実施でした。
- 5 演劇部が、第五小学校一年生に出前公演を2年間行いました。